

YAMAHA

# Clavinova®

CLP-250

取扱説明書

このたびは、ヤマハ・クラビノーバをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

クラビノーバは、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、伝統に培われた感性と先進のエレクトロニクス技術を結集して完成させた、画期的な鍵盤楽器です。

ピアノの原理を応用した

小気味良いタッチ感覚のAE鍵盤をはじめ、

音色にはリアルで高品位なAWM音源、

洗練された様々な機能の採用により、

クラビノーバならではの

豊かな演奏感を体感していただけます。

さらには、デジタル楽器の

統一規格・MIDI端子に加え、

拡張用の接続端子も装備しており、

演奏表現の可能性がいっそう広がります。

本書では、クラビノーバの魅力

をいつまでもお楽しみいただけますよう、

正しい取り扱い方法を説明しています。

ぜひご一読ください。



# 目次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| ご使用前に.....                | 1  |
| クラビノーバの組み立てかた.....        | 1  |
| 各部の名称とはたらき.....           | 3  |
| オプション(別売品)のご紹介.....       | 4  |
| 仕様.....                   | 4  |
| さあ!弾いてみましょう.....          | 5  |
| いろいろな効果や機能を活用しましょう.....   | 6  |
| ペダル効果.....                | 6  |
| サスティン効果.....              | 6  |
| トランスポーズ機能.....            | 7  |
| ピッチコントロール機能.....          | 8  |
| 練習曲(きらきら星).....           | 9  |
| 楽譜の読みかた.....              | 10 |
| 弾き語り講座.....               | 11 |
| MIDIで楽しみましょう.....         | 13 |
| EMシリーズでさらに楽しさを広げましょう..... | 16 |
| MIDIインプリメンテーションチャート.....  | 18 |

## ご使用前に

### 設置場所



次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。

- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

### お取り扱い



落としたり、物をぶついたり、上に物を置くなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

### 電源の処置



ご使用後は電源スイッチを切ってください。

### 外装のお手入れ



お手入れは、乾いた布でカラぶきするか、汚れのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、ビニール製品を上には置かないでください。

### 他の電気機器への影響



ラジオやテレビの近くで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が発生したり、誤動作することがあります。十分に離して使用してください。

### 保証書の手続き



お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただくことになりますので、充分ご注意ください。

### 保管



この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

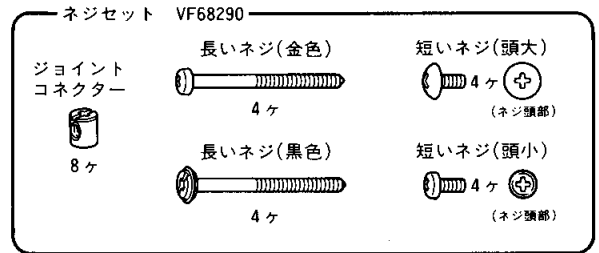
# クラビノーバの組み立てかた

部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。

## 1.+(プラス)のドライバーを用意します。



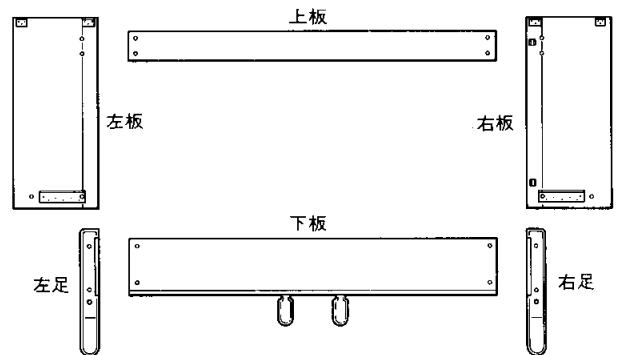
## 2.箱を開けて部品を取り出します。そして部品がすべてそろっているか確かめてください。



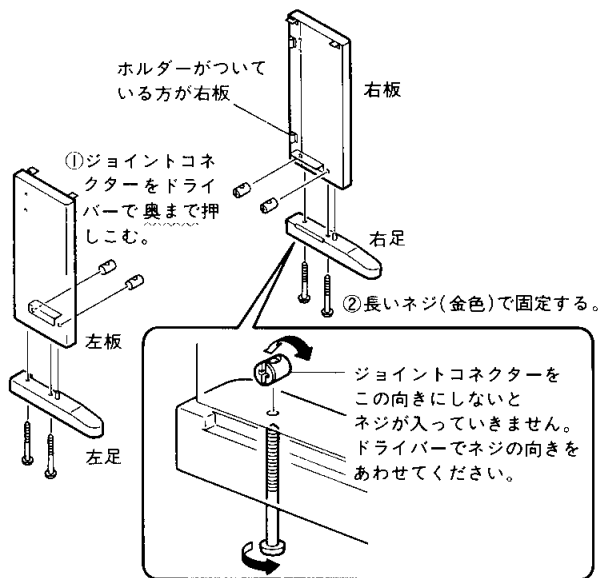
譜面立て



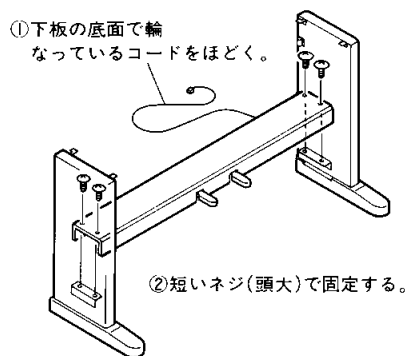
本体



3. 右板と右足、左板と左足を固定します。

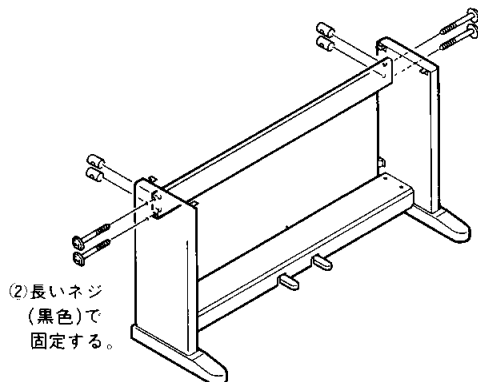


4. 下板を固定します。

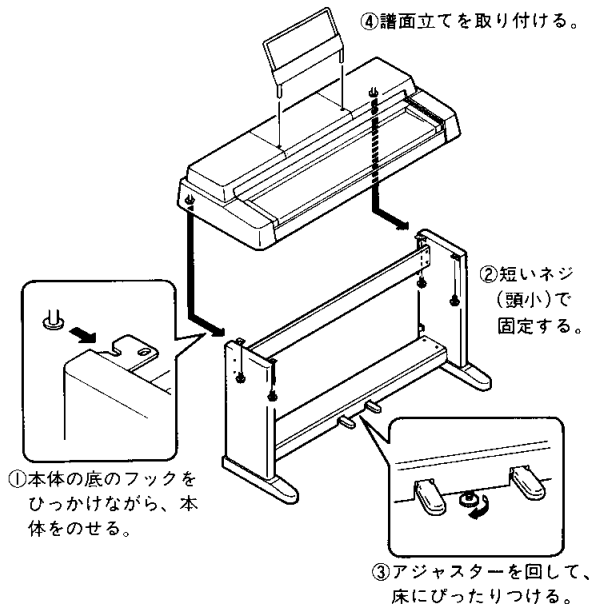


5. 上板を固定します。

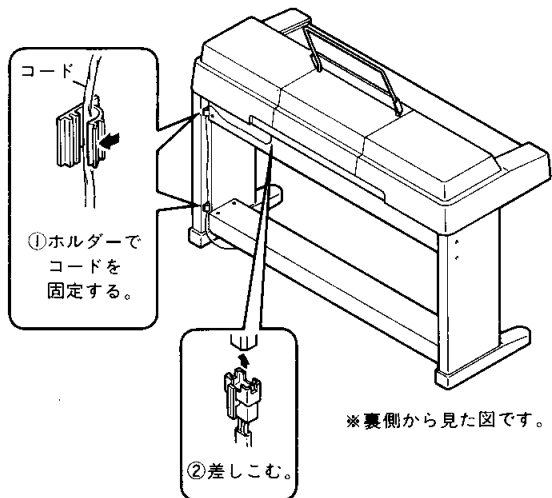
- ①ジョイントコネクタをドライバーで奥まで押し込む。そして向きをあわせる。



6. 本体をのせる。



7. コードを接続する。



# 各部の 名称とはたらき

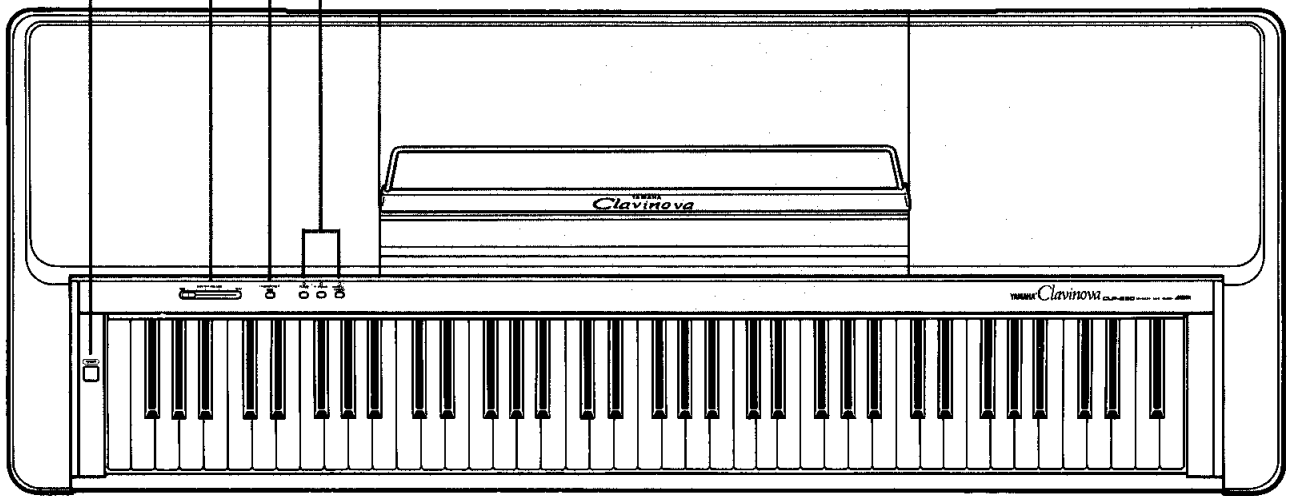
電源スイッチ (P.5ページ)

ボリューム (P.5ページ)

トランスポーザー/MIDI ボタン (P.7ページ、14ページ)

音色切替ボタン (P.5ページ)

マークのところにくわしく説明してあります。

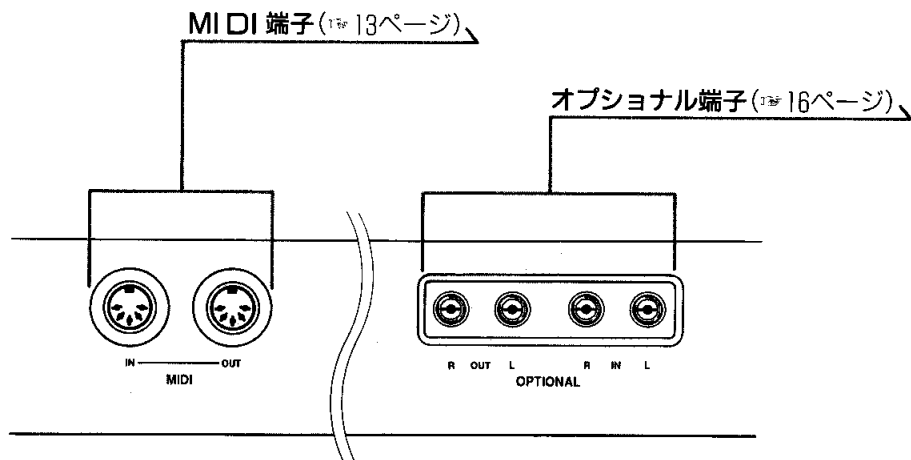


ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、クラビノーバのスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周りに迷惑をかけることはありません。

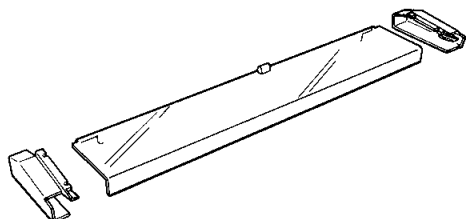
MIDI 端子 (P.13ページ)

オプション端子 (P.16ページ)



## オプション(別売品)のご紹介

収納具付キーカバー・KC-761(CLP-250用)



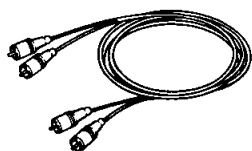
ヘッドホン・HPE-5

¥5,500

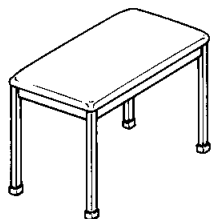


オーディオ接続コード・PSC-3

¥1,000



イス・BC-7



## クラビノーバ用曲集

### クラビノーバ・ファン・シリーズ

使いやすいっぱいの初心者向けの曲集です。

- ・クラビノーバ・ファン Vol.1 ¥1,000
- ・クラビノーバ・ファン Vol.2 ¥1,000
- ・クラビノーバ・ファン・スペシャル ディズニー名曲集 ¥1,200
- ・クラビノーバ・ファン・スペシャル クリスマス名曲集 ¥1,000

### 入門書/独習書

- ・クラビノーバによるバイエル伴奏集 ¥1,300  
レッスンから発表会まで、幅広くご活用ください。

### キーボードサラダ

最新のヒット曲やスタンダードなどを、やさしくアレンジした曲集です。

—隔月刊偶数月20日発売— 各 ¥580

## 仕様

- 鍵盤：76鍵(E<sub>0</sub>~G<sub>6</sub>)ピアノタッチ付
- 音色：ピアノ、エレクトリックピアノ、ハーブシコード
- 効果・機能：トランスポージャー、ピッチコントロール、サスティン
- コントロール：電源スイッチ、ボリューム、ソフト/ソステヌートペダル、ダンパーペダル
- 付属端子：ヘッドホン端子、オプション端子(IN L, IN R, OUT L, OUT R)、MIDI端子(IN, OUT)
- メインアンプ：20W
- スピーカー：16cm×2
- 定格電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：30W
- 外装：仕上げ…ブラック/ブラックローズウッド調仕上げ、  
間口…125.3cm、奥行…46.7cm、  
高さ…80.4cm、重量…39kg
- 付属品：譜面立て、トップカバー

# さあ！ 弾いてみましょう。

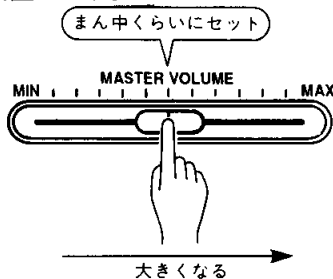
1. 電源プラグを家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。

2. 電源スイッチをオンにします。



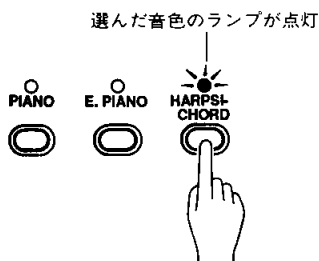
- ★電源スイッチをオンにした時は、いつもピアノの音色が選ばれています。
- ★電源スイッチを押して約3秒くらいしてから、音を出せます。
- ★電源スイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

3. 音量を調整します。



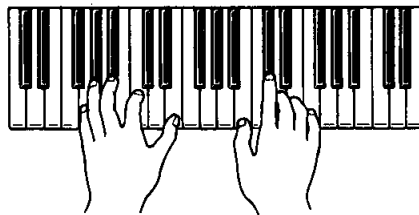
- ★鍵盤を押して音を出しながら、ボリュームで調整してください。

4. 音色を選んでください。



- ★2つ以上の音色を同時に選んで、いっしょに鳴らすことはできません。  
ただし、EMT-10やEMT-1を使えば、それを楽しむことができます。(17ページ)
- ★各音色はこんなイメージです。
  - ・ピアノ：コンサートグランドピアノの音
  - ・エレクトリックピアノ：明るい電気ピアノの音
  - ・ハーピシコード：ハーピシコード（バロック感覚の楽器）の音

5. 弾いてみましょう。



他の音色にも切り替えて弾いてみましょう。

- ★同時発音数は8音です。(8音ポリフォニック)

※クラビノーバにはペダル効果やトランスポーズ機能、ピッチコントロール機能など様々な機能がありますが、それらは後で順に紹介していきます。

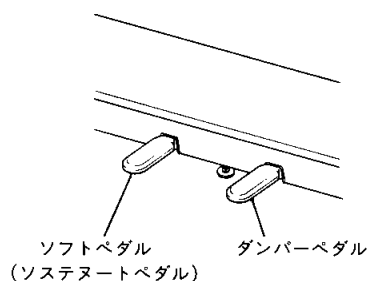
## 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境をまもりましょう。

# いろいろな効果や 機能を活用しましょう。

## ペダル効果

スタンド部分には2つのペダルがついており、それぞれに役割があります。なお、左側のソフトペダルは希望に応じて切り替え、ソステヌートペダルとして使用することもできます。



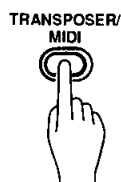
ソフトペダルを踏むと……音の響きがやわらかくなります(ソフト効果)。つまり、ピアノのソフトペダルを踏んだ時と似た効果がかかります。

ダンパーペダルを踏むと……音に余韻がついて響きが豊かになります(ダンパー効果)。つまり、ピアノのダンパーペダルを踏んだ時と似た効果がかかります。

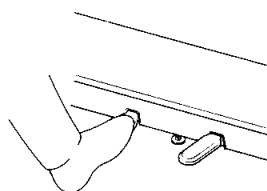
ソフトペダルをソステヌートペダルに切り替えたうえで踏むと……ペダルを踏んだ時に押えていた鍵盤の音だけに余韻がつきます(ソステヌート効果)。

### ソフト/ソステヌート切替方法

1. トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、



2. ソフトペダルを踏みます。



※もう一度踏むと、ソフト効果に戻ります。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもソフト効果が選択されています。

## サステイン効果

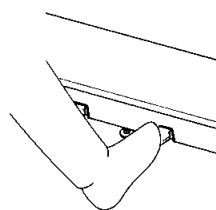
サステイン効果をかけることができます。サステインをかけると、音の響きが豊かになります。

### サステインオン/オフの切替方法

① トランスポージャー/MIDIボタンを押しながら、



② ダンパーペダルを踏みます。



※もう一度踏むと、サステインオフに戻ります。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもサステインオフになっています。

## トランスポーズ機能

押さえる鍵盤(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。(つまり、弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)

★±6半音の範囲でずらすことができます。つまり“ド”の音なら高い方に最大で“ファの#”(半オクターブ)まで、低い方も最大で“ファの#”(半オクターブ)までずらすことができます。

たとえば+5半音ずらすと



のように弾いたものが



のように鳴ります。

### ■ 移調量の設定方法

1. トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、

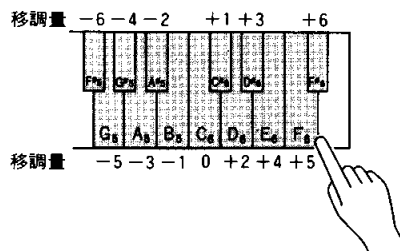


2. “トランスポーズ量指定用鍵盤”で移調量を指定します。



トランスポーズ量指定用鍵盤  
(F#<sub>5</sub>~F#<sub>6</sub>)

たとえば“ド”の音を“ファ”の音に変えたい時は、C<sub>6</sub>よりも5半音高い鍵盤、つまりF<sub>6</sub>の鍵盤を押します。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。

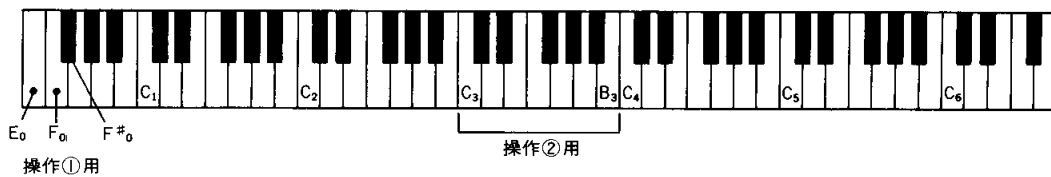
★この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキーを合わせる時にも便利です。



## ピッチコントロール機能

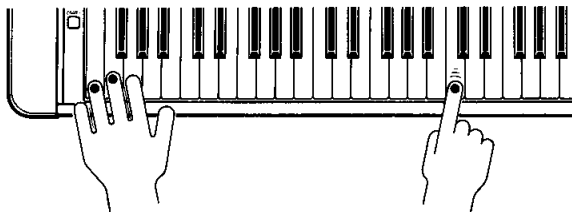
合奏の時などに、他の楽器と正確に音程を合わせることができます。つまり微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って他の楽器と音の高さを合わせます。

### ■音程の合わせ方



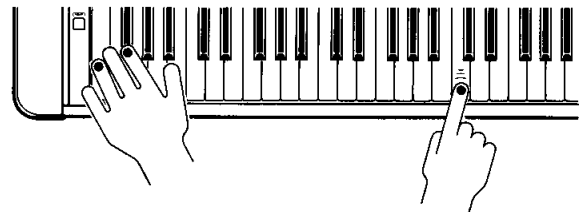
#### ◆音程を上げる時

- ①上の図に示したE<sub>0</sub>とF<sub>0</sub>の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C<sub>3</sub>～B<sub>3</sub>のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を上げて、合わせてください。



#### ◆音程を下げる時

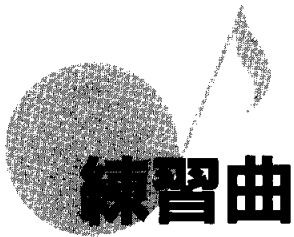
- ①上の図に示したE<sub>0</sub>とF<sub>#0</sub>の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C<sub>3</sub>～B<sub>3</sub>のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきぎみに音程を下げて、合わせてください。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。(A<sub>3</sub>=440Hz)

★元の高さ(A<sub>3</sub>=440Hz)に戻す時は電源を入れなおすか、またはE<sub>0</sub>、F<sub>0</sub>、F<sub>#0</sub>の3鍵盤を同時に押しながら、C<sub>3</sub>～B<sub>3</sub>のいずれかの鍵盤を押してください。

★±50セントの範囲、約3セントステップで設定できます。(参考：100セント=半音)



# 練習曲

## きらきら星

Twinkle little Star

フランス民謡

Moderato

きらきら ひかる おそらの ほしよ

*mp*

まばたき しては みんなを みてる

*mf*

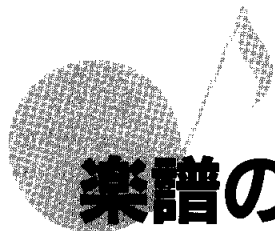
きらきら ひかる おそらの ほしよ

*mp*

みんなの うたが とどくと いいな

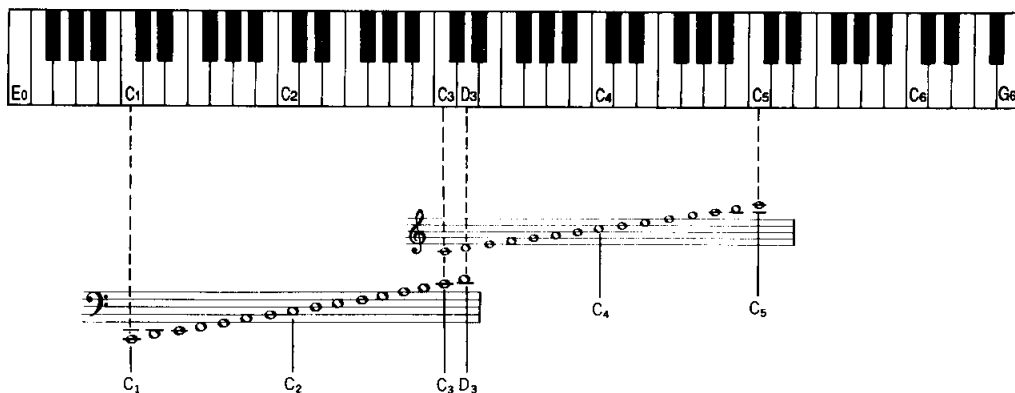
*mf*

きらきら ひかる おそらの ほしよ



# 楽譜の読みかた

## ■鍵盤と五線譜の関係



## ■音符と休符の長さ

### 音符

### 休符

| 音符の種類と名称    | 4分音符と比較した長さ         |
|-------------|---------------------|
| ○<br>全音符    | 4つ分のばす              |
| ◡<br>付点2分音符 | 3つ分のばす              |
| ◡<br>2分音符   | 2つ分のばす              |
| ◡<br>4分音符   |                     |
| ◡<br>8分音符   | ♩(♩♩=◡)<br>半分にする    |
| ◡<br>16分音符  | ♩(♩♩♩♩=◡)<br>1/4にする |
| ♩<br>3連音符   | ♩<br>3等分する          |

| 休符の種類と名称    | 4分音符と比較した長さ          |
|-------------|----------------------|
| —<br>全休符    | 4つ分休む                |
| —<br>付点2分休符 | 3つ分休む                |
| —<br>2分休符   | 2つ分休む                |
| —<br>4分休符   |                      |
| —<br>8分休符   | ♩(♩♩=—)<br>半分休む      |
| —<br>16分休符  | ♩(♩♩♩♩=—)<br>1/4だけ休む |

(♩♩♩は♩を3等分)

## ■記号の意味

| 記号と読みかた       | 意味      | 記号と読みかた                  | 意味               |
|---------------|---------|--------------------------|------------------|
| #<br>シャープ     | 半音上げる   | : :  <br>リピート            | くりかえし。           |
| b<br>フラット     | 半音下げる   | 1.   2.  <br>1番かっこ 2番かっこ | くりかえしのあとへ。       |
| ♯<br>タイ       | 音を続ける   | D.C.<br>ダカーボ             | 最初からくりかえし。       |
| —<br>スラー      | なめらかに   | D.S.<br>ダルセーニョ           | 記号からくりかえし。       |
| ∩<br>フェルマータ   | その音をのばす | ♯<br>Coda                | くりかえしのあとからCodaへ。 |
| Tacet<br>タセット | 伴奏を休む   | コーダ                      |                  |
| Fine<br>フィーネ  | おわり     |                          |                  |

# 弾き語り講座

たった1台で、メロディー、リズム、ハーモニーと音楽の3要素を表現できるスグレた楽器、ピアノ。でも、この3要素を全部ひとりで演奏するのはとても大変なこと。やっぱりそれなりに“レッスン”ということになってしまいます。

そこで、登場するのが「弾き語り」。3要素のうちメロディーの部分をやれば、残りのハーモニーとリズムだけをピアノで弾けばよいのです。これでかなり難しい曲も雰囲気を出しながら、やさしく演奏することができます。ピアノ弾き語りでは、おもに右手でコード(和音)を、左手でベースを担当し、右手と左手の弾くタイミングでリズムを作るというのが基本です。

## STEP 1 まずは基本をしっかりと

コードには、いろいろな種類があって“C”“G”などアルファベット1文字のものをメジャーコード、“Cm”“Gm”など小さい“m”のついたものをマイナーコード、そして“C7”“G7”などをセブンスコードとよびます。メジャーコードは明るめ、マイナーコードはちょっと寂しげ、セブンスコードはハデな印象です。ベースの基本は、“Cm”“C7”だったらC音(ド)、“Gm”“G7”だったらG音(ソ)をおさえることです(これを専門用語ではルートとか根音と呼びます)。このコードとベースの弾き方を覚えると、たいいてい曲を弾くことができます。

## STEP 2 フィーリングでひと工夫

“C”“G”“Am”“F”の4つのコードは、よく使われる代表的なものです。これらをマスターすると『ダイアナ』や『涙のリクエスト』など、たくさんの曲が弾けます。

EX. 1 ダイアナ

by Paul Anka

© 1957 by PAMCO music inc.  
The rights for Japan assigned to  
musical rights (Tokyo) K.K.  
日本音楽著作権協会(出)  
許諾第8857060-801号

EX. 2

基本形

VARI.1

VARI.2

このようにCコードなら右手は“ドミソ”左手は“ド”、Amコードなら“ドミラ”と“ラ”を全音符で弾くのが、いちばんやさしい演奏法。あとは、その曲にあわせ、4分音符で刻んだり3連符で“ザザザ”とやるなどフィーリングでリズムに演奏を(EX.2)。あわせて左手のほうも工夫しよう。ここまでできるようになれば、コードネームとメロディーだけとか歌詞だけの楽譜を見てもいろいろなバリエーションでプレイを楽しむことができます。

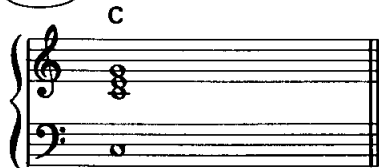
### STEP 3 ちょっと高度にアルペジオ

コード演奏には、STEP 1・2でやってきたように“ジャン・ジャン・ジャン”とその和音を一度におさえる方法のほかに、アルペジオという弾き方があります。アルペジオというのは、その和音につかわれている音をバラバラにして演奏することで、分散和音ともよばれています。いま

までの弾き方ではなにか物足りないナァという時やメロウな感じの曲などで使う、ピアノ弾き語りには欠かせないテクニック。ここまでマスターすると演奏の幅がグーンと広がります。たとえば、コード演奏を下のEX.3-VAR 1・2のパターンで弾いても、また一味ちがった演奏に！

EX. 3

基本形



VARI.1



VARI.2



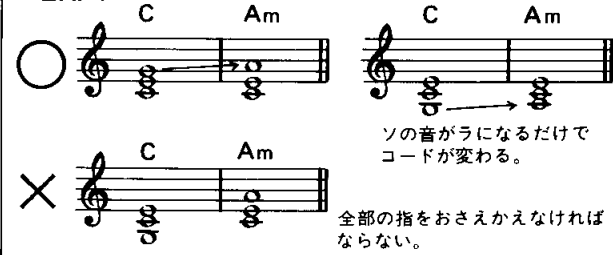
### STEP 4 転回テクニックでラクラク演奏

さて、いままでは、Cコードを“ドミソ”、Amコードを“ドミラ”と覚えてきました。ところが、コードはいつもこういうふうには弾かなければイケナイというものではありません。音のつきかさねの順番をちょっと変えてCコードを“ソドミ”とか“ミソド”、Amコードを“ラドミ”“ミラド”と弾くこともできるのです。

ちょっと鍵盤をおさえてためてみましょう。“ドミソ”と“ソドミ”では響きがちがいますね。こういうふうに順番をかえる(=転回するといいます)テクニックを覚えると、雰囲気を変えられるというお楽しみメリットと同時に演奏をラクにすることができます。EX.4を見てください

い。このようにC→Amに変えるのも指1本をとなりに動かすだけ。しっかりマスターしてバラエティーに富んだ響きの流れるような演奏をモノにしましょう。

EX. 4



# MIDIで 楽しみましょう。

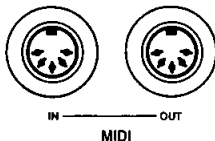
クラビノーバはMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法などを順に紹介します。

## MIDIとは？

MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス(Musical Instrument Digital Interface)の頭文字をとったもので、「ミディ」と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。つまりMIDI機能は、他のMIDI規格の製品と接続して初めて使い道があるわけです。(MIDI製品には必ずMIDI端子があります。)

## 本機のMIDI端子

本機には、次のように2種類のMIDI端子があります。(MIDI端子の種類には3種類あり、他のMIDI製品にはこれ以外にMIDI THRUという端子が付いていることがあります。)

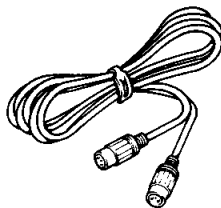


**MIDI OUT(メディアウト)：**クラビノーバでの演奏内容等が出力されます。

**MIDI IN(ミディイン)：**他のMIDI製品からの演奏内容等を入力できます。

★MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

MIDIケーブル (MIDI-15: 15m) ￥3,000  
(MIDI-03: 3m) ￥1,100

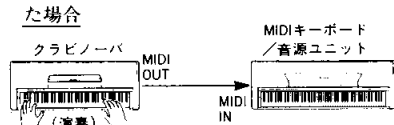


## MIDIでできること

MIDIで何ができるかは、接続した機器との相性で決まります。簡単にいえば、両製品に共通したMIDI機能なら、とりあえず可能性ありということになります。MIDI製品と一口でいっても実に様々なものがありますので、ここでは代表的なものを選んで「できること」を紹介します。接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

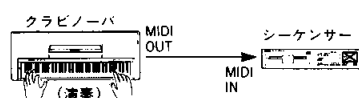
## MIDI OUT端子を使ってできること

### ◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合



- ★クラビノーバで演奏すると、接続した製品もそれ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。
- ★クラビノーバで音色を切り替えると、接続した製品の音色も同時に切り替わります。
- ★この他にペダルを操作した時、ペダルを踏んだ/離したを意味する情報を出力する機能があります。相手側が情報を受けてどう対応するかは、相手側のMIDI機能によって決まります。
- ※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。
- ※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって相手側のMIDIキーボードとして、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。
- ※後で紹介するAWM サウンドエクspander EMT-10、FMエクspander EMT-1も音源ユニットに含まれます。音源ユニットは簡単にいうとキーボードから鍵盤を除いたもの(=音源まわりを残したものだ)とってください。

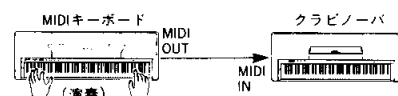
### ◆MIDIシーケンサーを接続した場合



- ★クラビノーバでの演奏内容を、MIDIシーケンサーに記録できます。MIDIシーケンサーに演奏内容を記録すれば、後でそれを再生して自動演奏させることができます。ここで1つ考えなければならないのは、同じように演奏内容を記憶させることができる機械にテープレコーダーというものがありますが、これとは実際には大きく異なることがある、という事実です。テープレコーダーには音そのものを記憶させますが、シーケンサーの場合は音ではなく、後で音を出すことができるように音を出すためのデータを記憶させるということです。事実、シーケンサーを再生する時には音を出す製品(MIDIキーボードや音源ユニットといわれるもの)を使わなければ音にはなりません。これからMIDIシーケンサーを使おうと思っている方は、このあたりの概念をまずはしっかりと理解してください。
- ★MIDIシーケンサーには、演奏内容だけでなく、音色の切替情報やペダルの操作情報も記録できます。
- ※後で紹介するディスクレコーダー EMQ-1もMIDIシーケンサーに含まれます。

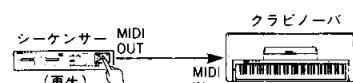
## MIDI IN端子を使ってできること

### ◆MIDIキーボードに接続した場合



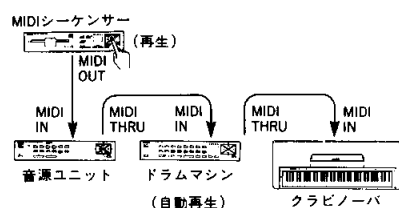
- ★外部のMIDIキーボードで演奏すると、クラビノーバもクラビノーバ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。
- ★外部のMIDIキーボードで音色を切り替えると、クラビノーバの音色も同時に切り替わります。
- ★ペダル操作の情報を入力してクラビノーバのペダル効果をコントロールすることも可能です。
- ※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。
- ※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって外部のMIDIキーボードに、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

### ◆MIDIシーケンサーに接続した場合



- ★MIDIシーケンサーに記録済みの演奏内容を、クラビノーバの音色で再生できます。
- ※後で紹介するディスクレコーダー EMQ-1もMIDIシーケンサーに含まれます。

### ◆MIDIシステム接続



- ★このシステムは、シーケンサーを再生してクラビノーバと音源ユニットで鳴らし、それにリズムを加えて自動演奏化しようというものです。
- ※この図では、アンプやスピーカーを省略してあります。

## MIDI関係の設定・機能

MIDIの機能を使う場合にもやはり設定が必要です。(設定しなくてもたまたま動くこともありますが……)

### ◆MIDIチャンネルの設定

MIDIの世界にも、テレビと同じようにチャンネルがあります。MIDIには1から16チャンネルまであり(テレビの場合は1から62です)、ほとんどのMIDI情報に“この情報は〇〇チャンネルだよ”という信号が含まれています。そもそもなぜチャンネルが必要かというと、たとえばシーケンサーを再生した場合、シーケンサーのMIDI OUT端子からはいくつかのチャンネルの情報が次々に出力されます。そして1本のMIDIケーブルの中をいくつかのチャンネルの情報がいっしょに流れます。幸いにして各情報にはMIDIチャンネルが付けられていますので、受信側の製品でチャンネルを指定してやれば、必要なそのチャンネルの情報だけを選んで受け取ることができるわけです。

そして、最も一般的なMIDIキーボードとMIDIキーボードの接続の場合にも、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルを一致させなければ、受信側で情報を受け取ることができませんので、受信側で当然音は鳴りません。

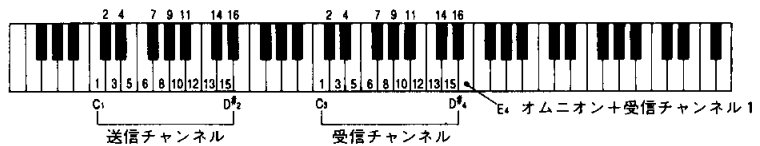
\*チャンネルの信号が含まれていると都合の悪い情報には、チャンネル信号は逆に含まれていません。

### 送・受信チャンネルの設定方法

①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、  
②該当する鍵盤を押します。

- ・送信チャンネルを
  - 1に切り替える場合……………C<sub>1</sub>
  - 2に切り替える場合……………C<sub>#1</sub>
  - ⋮
  - 16に切り替える場合……………D<sub>#2</sub>
- ・オムニオン+受信チャンネル
  - 1に切り替える場合……………C<sub>3</sub>
  - ⋮
  - 16に切り替える場合……………D<sub>#4</sub>
- ・オムニオン+受信チャンネル
  - 1に切り替える場合……………E<sub>4</sub>

※オムニオンは、チャンネル設定に関係なく、どのチャンネルのボイスメッセージ(鍵盤、ペダル、音色スイッチ等)でも受信する状態です。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも送信=チャンネル1、受信=オムニオン+チャンネル1が選ばれています。

### ◆ローカルコントロールオン/オフの切替

ローカルコントロールオフという状態になると、クラビノーバで演奏したにもかかわらずクラビノーバ自身では鳴らなくなります。ただしMIDI OUT端子からは、オン/オフにかかわらず演奏情報が出力されます。つまりローカルコントロールオフは、あえて外部の製品側だけで鳴らしたい場合に、クラビノーバで音が出ないようにするためのものです。

#### オン/オフの切替方法

- ①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、
- ②ピアノボタンを押します。
  - ・ローカルコントロールオフにする場合……PIANOのランプを点灯させる。
  - ・ローカルコントロールオンに戻す場合……PIANOのランプが消灯させる。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもローカルコントロールオンが選ばれています。

### ◆プログラムチェンジオン/オフの切替

プログラムチェンジオフという状態にすると、クラビノーバで音色を切り替えても、MIDI OUT端子へ音色の切替情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子から音色切替情報を受けてもクラビノーバの音色は切り替わりません。つまり、クラビノーバだけで単独に音色を切り替えたい場合には、プログラムチェンジオフにしてください。

#### オン/オフの切替方法

- ①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、
- ②エレクトリックピアノボタンを押します。
  - ・プログラムチェンジオフにする場合……E PIANOのランプを点灯させる。
  - ・プログラムチェンジオンに戻す場合……E PIANOのランプを消灯させる。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもプログラムチェンジオンが選ばれています。

### ◆コントロールチェンジオン/オフの切替

コントロールチェンジオフという状態になると、クラビノーバやペダルなどを操作しても、MIDI OUT端子へそれらの情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子からそれらの情報を受けても、クラビノーバはそれに応じなくなります。つまり、クラビノーバだけで単独にペダルを操作したい場合には、コントロールチェンジオフにしてください。

#### オン/オフの切替方法

- ①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、
- ②ハーブシコードボタンを押します。
  - ・コントロールチェンジオフにする場合……HARPSICHORDのランプを点灯させる。
  - ・コントロールチェンジオンに戻す場合……HARPSICHORDのランプを消灯させる。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもコントロールチェンジオンが選ばれています。

## MIDIデータフォーマット

MIDIデータフォーマットを読む方はご覧ください。CLP-250のMIDI仕様を素早く調べたり、細かく知るうえで役立つことがあります。

### 1. 送信データ

#### 1-1. チャンネルインフォメーション

##### ◆チャンネルボイスメッセージ

① ノートオン/オフ：鍵盤を押した時に送信します。

|        |                       |  |
|--------|-----------------------|--|
| ステータス  | 1 0 0 1 n n n n (9nH) | n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)                |
| ノートNo. | 0 k k k k k k k k     | k=28(E <sub>0</sub> )~103(G <sub>6</sub> ) |
| ベロシティ  | 0 v v v v v v v v     | v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)                |

② コントロールチェンジ：各ペダル操作をした時に送信します。

|           |                       |                                    |
|-----------|-----------------------|------------------------------------|
| ステータス     | 1 0 1 1 n n n n (8nH) | n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)        |
| コントロールNo. | 0 c c c c c c c c     | c=64(ダンパー), 66(ソステナート),<br>67(ソフト) |
| コントロール値   | 0 v v v v v v v v     | v=0(オフ), 127(オン)                   |

③ プログラムチェンジ：音色を切り替えた時に送信します。

|          |                       |  |
|----------|-----------------------|--|
| ステータス    | 1 1 0 0 n n n n (CnH) | n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)            |
| プログラムNo. | 0 p p p p p p p p     | p=0(PIANO), 1(E.PIANO), 2(HARPSICHORD) |

#### 1-2. システムインフォメーション

##### ◆システムリアルタイムメッセージ

① アクティブセンシング：約200msecごとに1回送信します。

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| ステータス | 1 1 1 1 1 1 1 0 (FEH) |
|-------|-----------------------|

### 2. 受信データ

#### 2-1. チャンネルインフォメーション

##### ◆チャンネルボイスメッセージ

① ノートオン/オフ：

ノートNo.によって発音の音程が決まり、ベロシティによって音量が決まります。

|        |                       |   |
|--------|-----------------------|---|
| ステータス  | 1 0 0 1 n n n n (9nH) | n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)                 |
| ノートNo. | 0 k k k k k k k k     | k=21(A <sub>-1</sub> )~108(C <sub>7</sub> ) |
| ベロシティ  | 0 v v v v v v v v     | v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)                 |

② ノートオフ：

ノートオフをステータス8nHで送り出す機器との対応のためです。

|        |                       |   |
|--------|-----------------------|---|
| ステータス  | 1 0 0 0 n n n n (8nH) | n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)                 |
| ノートNo. | 0 k k k k k k k k     | k=21(A <sub>-1</sub> )~108(C <sub>7</sub> ) |
| ベロシティ  | 0 v v v v v v v v     | v=無視します。                                    |

③ コントロールチェンジ：メッセージに従って各対応をします。

|           |                       |  |
|-----------|-----------------------|--|
| ステータス     | 1 0 1 1 n n n n (8nH) | n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)                          |
| コントロールNo. | 0 c c c c c c c c     | c=64(ダンパー), 66(ソステナート),<br>67(ソフト)                   |
| コントロール値   | 0 v v v v v v v v     | ボリューム v=0(最小)~127(最大)<br>ペダル類 v=0~63(オフ), 64~127(オン) |

④ プログラムチェンジ：

プログラムNo.によって音色が決まります。なお、指定番号よりプログラムNo.の大きいメッセージは無視します。

|          |                       |   |
|----------|-----------------------|---|
| ステータス    | 1 1 0 0 n n n n (CnH) | n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)               |
| プログラムNo. | 0 p p p p p p p p     | p=0(PIANO), 1(E.PIANO),<br>2(HARPSICHORD) |

##### ◆チャンネルモードメッセージ

メッセージに従って各対応をします。

|           |                       |   |
|-----------|-----------------------|---|
| ステータス     | 1 0 1 1 n n n n (BnH) | n=0(チャンネルNo1)~15(チャンネルNo16)   |
| コントロールNo. | 0 c c c c c c c c     | c=122(ローカルコントロール),<br>123(オールノートオフ),<br>124(オムニオフ/オールノートオフ),<br>125(オムニオン/オールノートオフ) |
| コントロール値   | 0 v v v v v v v v     | ローカルコントロール v=0(オフ), 127(オン)<br>ローカルコントロール以外 v=0                                     |

#### 2-2. システムインフォメーション

##### ◆システムリアルタイムメッセージ

① アクティブセンシング：

受信すると、センシングを開始します。その後400msecの間ステータスもデータもこない場合には、発音を強制的に停止させます。

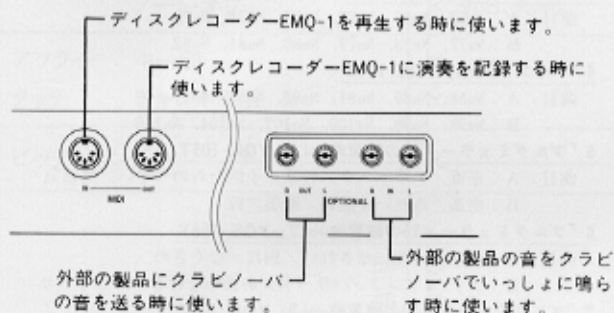
|       |                       |
|-------|-----------------------|
| ステータス | 1 1 1 1 1 1 1 0 (FEH) |
|-------|-----------------------|



# EMシリーズで さらに楽しさを広げましょう。

ヤマハではクラビノーバ/ポータートーン用拡張機器として、EMシリーズといういろいろなオプション(別売)製品を用意しています。そしてこれらの製品をクラビノーバと組み合わせると、クラビノーバの楽しさや音楽表現の幅がさらに広がるようになっています。ここでは、各組合せによって可能になる楽しみかたを紹介します。

## ◆EMシリーズの製品を接続する時に使うクラビノーバの接続端子



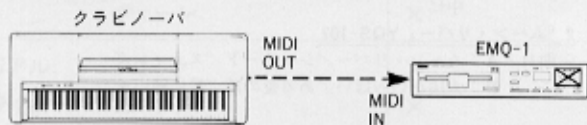
## ◆ディスクレコーダー-EMQ-1との組合せ

EMQ-1は自分の演奏を記録するものです。記録した曲は後で自由に再生でき、自分の演奏をじっくり聴くことができますので、演奏の良いところと悪いところがしっかりとわかります。また「バイエル」や「ブルグミュラー」などのピアノ基本教材の模範演奏や、プロの演奏による「ピアノ名曲コレクション」など、様々な再生用ソフトもセットでき、ご家庭での音楽の楽しみかたがいっそうふくらみます。

・ディスクレコーダー-EMQ-1

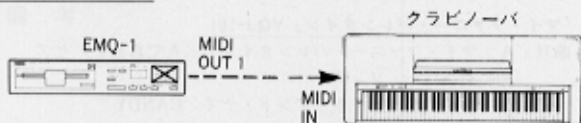


### 接続 (記録時)



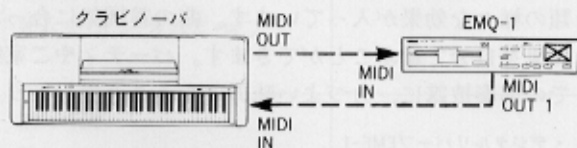
自分の演奏を記録する時の接続方法です。左手の演奏を記録してから、次に右手の演奏を記録するなど、いくつかのパートを順々に重ねて記録することもできます。

### 接続 (再生時)



再生する時の接続方法です。重ねて記録した曲や再生用ソフトをセットした時の接続方法も、もちろん同じです。

★次のように記録時の接続と再生時の接続を両方しておく便利です。



★EMQ-1だけでなく練習用ソフトもあわせて使用した場合は、右手または左手パートの音だけ自動演奏させることが可能になります。そしてそれに合わせて、もう一方のパートの練習ができます。その場合のクラビノーバ側の設定方法は次のとおりです。

右手パートを自動演奏させ、左手パートの練習をする場合

- ①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、
- ②E<sub>0</sub>の鍵盤を押します。するとオムニオフ+受信チャンネル1になり、設定完了です。

左手パートを自動演奏させ、右手パートの練習をする場合

- ①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、
- ②F<sub>0</sub>の鍵盤を押します。するとオムニオフ+受信チャンネル2になり、設定完了です。

元の状態に戻す場合

- ①トランスポザー/MIDIボタンを押しながら、
- ②E<sub>0</sub>とF<sub>0</sub>の鍵盤を同時に押します。するとオムニオン+受信チャンネル1になり、元の状態に戻ります。

## ◆デジタルドラマー-EMR-1との組合せ

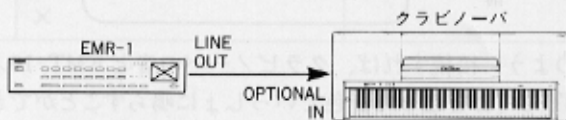
EMR-1にはディスコやマーチ、ワルツなど32種類もリズムが入っていますので、自分で演奏する曲に合ったリズムを選ぶことができます。そしてリズムの音は37種類の楽器の中で構成されていますので、とても本物に近い、迫力のある音がします。

なお、リズムの順番を決めたり、テンポを変えたり、装飾音を入れたりして、曲の流れにあったリズムにすることができます。

・デジタルドラマー-EMR-1



### 接続



リズムの音をクラビノーバでいっしょに鳴らすときの接続方法です。リズムに合わせて演奏すれば、楽しみながら演奏するうちに、リズム感が養われ、曲の速さを正確に保つことができるようになります。

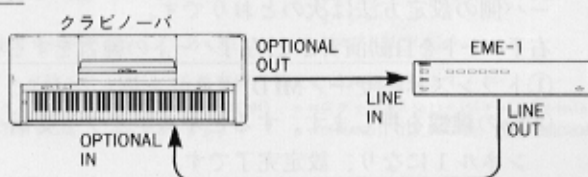
### ◆デジタルリバーブ EME-1 との組合せ

クラビノーバなどの演奏音に豊かな響きを与える12種類の様々な効果が入っています。曲の雰囲気合った効果を自分で選ぶことができます。パーティやご家庭での演奏披露に、力づよい味方となることでしょう。

#### ・デジタルリバーブ EME-1



#### 接続



このように接続すればクラビノーバの音に効果がかかります。

### ◆サウンドエクスパンダー EMT-10、または EMT-1 との組合せ

EMT-10にはAWM音源の楽器音が12種類、EMT-1にはFM音源の楽器音が32種類入っています。どちらも本物にとっても近い音です。

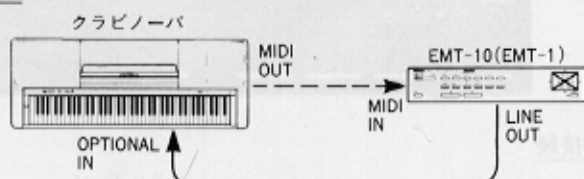
#### ・AWMサウンドエクスパンダー EMT-10



#### ・FMサウンドエクスパンダー EMT-1



#### 接続



このように接続すれば、クラビノーバの音と EMT-10/EMT-1の音を違った音色でいっしょに鳴らすことができますから、音に厚みができます。

### ヤマハディスクレコーダー(EMQ-1)専用クラビノーバ・ライブラリー・シリーズのご紹介 各 ¥2,500

クラビノーバ・ライブラリー・シリーズはディスク・レコーダー(EMQ-1)とクラビノーバのための曲データソフトです。鑑賞用に、学習用に幅広くご利用いただけます。

#### エデュケーションル

エデュケーションル・シリーズは、左手パートと右手パートを独立して再生できますので、学習用に最適です。

#### 1 「バイエルvol.1」 YQE-101T

曲目/A: No.8, No.16, No.18, No.19, No.21, No.23, No.24  
B: No.29, No.35, No.37, No.41, No.44

#### 2 「バイエルvol.2」 YQE-102T

曲目/A: No.46, No.47, No.48, No.49, No.51, No.52  
B: No.53, No.54, No.55, No.57, No.58, No.60

#### 3 「バイエルvol.3」 YQE-103T

曲目/A: No.62, No.66, No.72, No.73, No.74, No.76  
B: No.77, No.78, No.79, No.80, No.81, No.82

#### 4 「バイエルvol.4」 YQE-104T

曲目/A: No.88, No.89, No.91, No.92, No.93, No.97  
B: No.98, No.99, No.100, No.102, No.104, No.106

#### 5 「ブルグミュラー/25の練習曲vol.1」 YQE-105T

曲目/A: 正直/アラベスク/牧歌/子供たちのつどい/無邪気  
B: 前奏/きれいな流れ/優美/狩

#### 6 「ブルグミュラー/25の練習曲vol.2」 YQE-106T

曲目/A: やさしい花/せきれい/別れ/なぐさめ  
B: ステリアンヌ/バラード/あまいなげき/おしゃべり

#### 7 「ブルグミュラー/25の練習曲vol.3」 YQE-107T

曲目/A: 不安/アヴェ・マリア/クランテラ/天使の声  
B: 舟歌/家路/つばめ/貴婦人の乗馬

#### ピアノ名曲コレクション

#### 1 「エリーゼのために」 YQP-101

曲目/A: エリーゼのために/バッハのメヌエット/すみれ  
B: 楽しい農夫/ト長のメヌエット/ばらに寄せて

#### 2 「乙女の祈り」 YQP-102

曲目/A: 乙女の祈り/トロイメライ/春の歌  
B: 人形の夢と目覚め/花の歌/ガボット

#### 3 「小犬のワルツ」 YQP-103

曲目/A: 小犬のワルツ/紡ぎ歌/楽興の時  
B: キラキラ星変奏曲/インベンション1番

#### 4 「月の光」 YQP-104

曲目/A: 月の光/アラベスク  
B: 夢/ゴリウォークのケーキウォーク/小さな黒人

#### スクリーン・ミュージック

#### 1 「ひまわり」 YQS-101

曲目/A: ひまわり/いそしぎ/追憶  
B: 雨にぬれても/シェルプールの雨傘/愛はきらめきの中に

#### 2 「ムーン・リバー」 YQS-102

曲目/A: ムーン・リバー/シャレード/スティンク  
B: 太陽がいっぱい/ある愛の詩/星に願いを

#### コンテンポラリー・ポップス

#### 1 「セイ・ユー・セイ・ミー」 YQC-101

曲目/A: セイ・ユー・セイ・ミー/エア・ソング/小さな願い  
B: やさしく歌って/愛のプレリュード/サウンド・オブ・サイレンス

#### スタンダード・ジャズ

#### 1 「マイ・ファニー・バレンタイン」 YQJ-101

曲目/A: マイ・ファニー・バレンタイン/二人でお茶を/セブテンバー・ソング  
B: 9月の雨/ナイト・アンド・デイ/CANDY

★各シリーズ共、続々と他のソフトが登場します。ご期待ください。

# MIDIインプリメンテーションチャート

Date:1988. 6. 16  
Version:1.0

| ファンクション…  | 送                          | 信 | 受                          | 信 | 備                              | 考 |
|---|----------------------------|---|----------------------------|---|--------------------------------|---|
| ベーシック<br>チャンネル<br>電源ON時<br>設定可能                         | 1チャンネル<br>1～16チャンネル        |   | 1チャンネル<br>1～16チャンネル        |   |                                |   |
| モード<br>電源ON時<br>メッセージ                                   | モード 3<br>×                 |   | モード 1<br>オムニ・オン、オムニ・オフ     |   |                                |   |
| ノート<br>ナンバー<br>音域                                       | 28～103<br>*****            |   | 21～108<br>21～108           |   |                                |   |
| ベロシティ<br>ノート・オン<br>ノート・オフ                               | ○ 9nH、V=1～127<br>× 9nH、V=0 |   | ○ V=1～127<br>×             |   |                                |   |
| アフター<br>タッチ<br>キー別<br>チャンネル別                            | ×<br>×                     |   | ×<br>×                     |   |                                |   |
| ピッチ・ベンダー  | ×                          |   | ×                          |   |                                |   |
| コントロール<br>チェンジ  | 64 ○<br>66 ○<br>67 ○       |   | ○<br>○<br>○                |   | ダンパーペダル<br>ソステヌートペダル<br>ソフトペダル |   |
| プログラム<br>チェンジ<br>設定可能範囲                                 | ○ 0～2<br>*****             |   | ○ 0～2<br>0～2               |   |                                |   |
| エクスクルーシブ  | ×                          |   | ×                          |   |                                |   |
| コモン<br>ソング・ポジション<br>ソング・セレクト<br>チェーン                    | ×<br>×<br>×                |   | ×<br>×<br>×                |   |                                |   |
| リアル<br>タイム<br>クロック<br>コマンド                              | ×<br>×                     |   | ×<br>×                     |   |                                |   |
| その他<br>ローカル ON/OFF<br>オール・ノート・オフ<br>アクティブ・センシング<br>リセット | ×<br>×<br>○<br>×           |   | ○<br>○ (123～125)<br>○<br>× |   |                                |   |
| 備考  |                            |   |                            |   |                                |   |

モード 1：オムニ・オン、ポリ    モード 2：オムニ・オン、モノ    ○：あり  
モード 3：オムニ・オフ、ポリ    モード 4：オムニ・オフ、モノ    ×：なし

# アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

●保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

## ■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

## ■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬときにお客さまにご迷惑をおかけしなさいません。

## YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

|                 |  |
|-----------------|--|
| 東京電音サービスセンター    | 〒211 川崎市中原区木月1184<br>TEL.044-434-3100                      |
| 新潟電音サービスステーション  | 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F<br>TEL.025-243-4321            |
| 大阪電音サービスセンター    | 〒565 吹田市新芦屋1-16 千里丘センター内<br>TEL.06-877-5262                |
| 四国電音サービスステーション  | 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ髙松店内<br>TEL.0878-51-7777、22-3045         |
| 名古屋電音サービスセンター   | 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2<br>ヤマハ髙松名古屋流通センター<br>TEL.052-652-2230 |
| 九州電音サービスセンター    | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4<br>TEL.092-472-2134                  |
| 北海道電音サービスセンター   | 〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター<br>TEL.011-513-5036             |
| 仙台電音サービスセンター    | 〒983 仙台市卸町5-7<br>仙台卸商共同配送センター3F<br>TEL.022-236-0249        |
| 広島電音サービスセンター    | 〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39<br>TEL.082-874-3787              |
| 浜松電音サービスセンター    | 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ髙宮竹工場内<br>TEL.0534-65-6711               |
| (本社)<br>電音サービス部 | 〒435 浜松市上西町911<br>TEL.0534-65-1158                         |

\*住所および電話番号は変更になる場合があります。

**YAMAHA**  
YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

|        |  |
|--------|--|
| 本 社    | シングルキーボード事業部 / 〒430 浜松市中沢町10-1<br>TEL.0534(60)3275 |
| 東京営業所  | 〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル<br>TEL.03(572)3130       |
| 大阪営業所  | 〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館<br>TEL.06(252)7491  |
| 名古屋営業所 | 〒460 名古屋市中区錦1-18-28<br>TEL.052(201)5150            |
| 九州営業所  | 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4<br>TEL.092(472)2152          |
| 北海道営業所 | 〒064 札幌市中央区南十条西1-4 ヤマハセンター<br>TEL.011(512)6113     |
| 仙台営業所  | 〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル<br>TEL.022(222)6141   |
| 広島営業所  | 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18<br>TEL.082(244)3749            |

YAMAHA feelin' club



T4960693006399